

3 衛生指導業務

[事業概況]

県並びに生産者団体及び畜産関係団体等と連携を強化しながら、自衛防疫の推進を図り、家畜伝染病予防に係る以下の事業を行った。

1) 補助・助成事業

(1) 独立行政法人農畜産業振興機構事業

① 家畜防疫互助基金支援事業

豚コレラ、口蹄疫等の海外悪性伝染病が発生した場合、飼養家畜のとう汰に伴う損失を生産者等が互助補償する仕組みを支援するため、生産者等に対し、事業の加入推進・普及・連絡調整等を行った。

畜種	加入農家戸数	加入金額
豚	33 戸	4,811,100 円
牛	178 戸	6,690,190 円

(2) 国庫事業

① 死亡牛緊急検査処理円滑化推進事業

BSE（牛海綿状脳症）検査機関に職員を配置し、BSE の発生予防のため、県との連携の連絡を密にし、BSE 検査及び死亡牛の適正な処理を推進した。

また、県、生産者団体、化製業者、死亡獣畜取扱業者等からなる協議会を開催し、事業を推進した。

区分	計画	実績	備考
24 ヶ月以上	620 頭	619 頭	補助対象 612 頭
7 ヶ月以上 24 ヶ月未満	0 頭	157 頭	補助対象外
7 ヶ月未満	0 頭	182 頭	補助対象外
合計	620 頭	958 頭	

② 家畜生産農場清浄化支援対策事業

a) 疾病清浄化支援対策

ア) オーエスキー病の清浄化対策

県内のオーエスキー病の清浄度を維持するため、出荷予定種豚及び清浄農場が他の都道府県から導入した種豚の抗体検査に要する経費を助成し、清浄種豚の流通促進を図った。

対象農家	計画	実績
25 戸	1,200 頭	1,100 頭

イ) 農場飼養衛生管理強化対策

生産者が飼養衛生管理の向上のため、農場指導指定獣医師の講習会を開催し、指定獣医師による農場指導を実施した。

計 画	実 績
10 戸	4 戸

(3) 公益社団法人中央畜産会事業

① 家畜衛生体制強化基金事業

鳥インフルエンザ防疫研修会を共催した。

2) 受託事業

(1) 公益社団法人中央畜産会

① 農場 HACCP 認証普及推進支援対策事業

ア) 農場取組推進対策

農場取組調査部会が定めた調査内容について県内の農場で調査を行った。

イ) 農場 HACCP 構築指導推進支援

農場 HACCP 認証基準に基づき農場 HACCP の構築支援を行った。

② 生産地等馬伝染性疾病防疫強化特別対策事業

ア) 地域馬伝染性疾病防疫強化推進対策事業

ワクチン接種の推進、自衛防疫関係資料により普及啓発を行った。また、馬伝染性疾病の発生予防等効果的な防疫措置のための検討を行った。

イ) 馬インフルエンザワクチン接種推進対策事業

全国乗馬倶楽部振興協会登録馬以外の乗用馬を対象に獣医師が行う馬インフルエンザワクチン接種の推進を行った。

対象乗馬クラブ	計 画	実 績
4 戸	60 頭	45 頭

(2) 家畜衛生対策推進協議会事業

① 地域自衛防疫強化特別対策事業

ア) 地域自衛防疫強化推進対策

畜産農家の初動防疫活動が有効な方策、地域特定疾病対策の啓発・普及等自衛防疫強化推進のための検討等を行った。

イ) 早期緊急自衛防疫対策の推進

畜産農家の初動防疫活動が有効に機能する体制の整備推進を行うため、畜種別に防疫演習を開催した。

ウ) 特定疾病拡大防止支援対策

モデル農場を選定し、初乳加温装置を設置、家保の指導の下、具体的な衛生管理対策を実施した。

3) 協会事業

(1) 予防注射事業

鶏マレック病予防接種を実施した。

地 区	計 画	実 績
中 勢	35,000 羽	16,500 羽
南 勢	45,000 羽	0 羽
合 計	80,000 羽	16,500 羽

3) 平成 25 年度の主な行事

年	月	日	行 事 内 容
25	5	29	農場 HACCP 認証体制強化特別対策事業 全国会議
		6	19
26	9	10~12	農場 HACCP 認証審査員養成研修
		19	衛生体制強化基金事業 高病原性鳥インフルエンザ防疫研修会
	10	10	農場飼養衛生管理強化対策事業 農場指導獣医師認定研修会
		21	地域馬伝染性疾病防疫強化推進対策事業 推進会議
	1	23	地域自衛防疫強化特別対策事業 早期緊急自衛防疫対策研修会(豚)
		24	死亡牛緊急検査処理円滑化推進事業 推進協議会
		24	地域自衛防疫強化特別対策事業 早期緊急自衛防疫対策研修会(牛)
		5	農場飼養衛生管理強化対策事業 推進会議
	2	18	家畜防疫互助基金支援事業 中央推進会議
		25	4
4			地域馬伝染性疾病防疫強化推進対策事業 検討会
4		地域自衛防疫強化特別対策事業 自衛防疫推進会議	